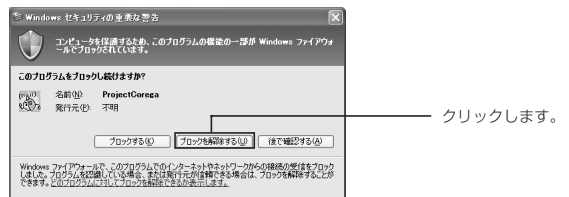
■ユーティリティの設定をする

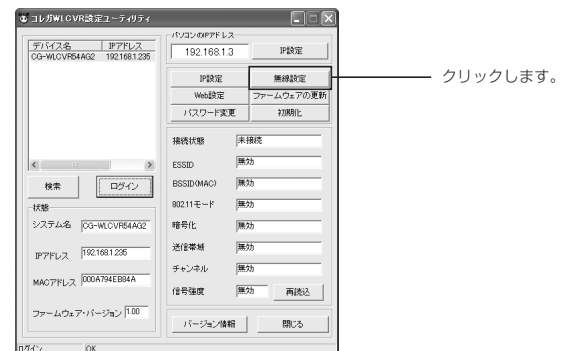
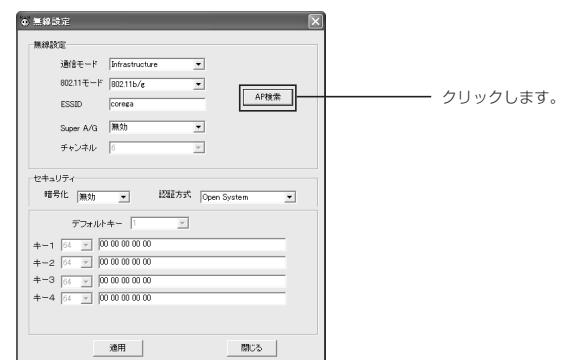
ユーティリティを使って本製品に接続する無線ルータや無線アクセスポイントに接続します。

1　「スタート」－「プログラム」（Windows XPでは「すべてのプログラム」）－「コレガWLCVR設定ユーティリティ」－「コレガWLCVR設定ユーティリティ」をクリックします。

●Windows XP SP2の場合

初めて「コレガWLCVR設定ユーティリティ」を起動させたときに、次のような画面が表示されることがあります。表示された場合は「ブロックを解除する」をクリックしてください。

2　ユーティリティが表示されたら、デバイスリストから本製品の製品名を選択し、「ログイン」をクリックします。

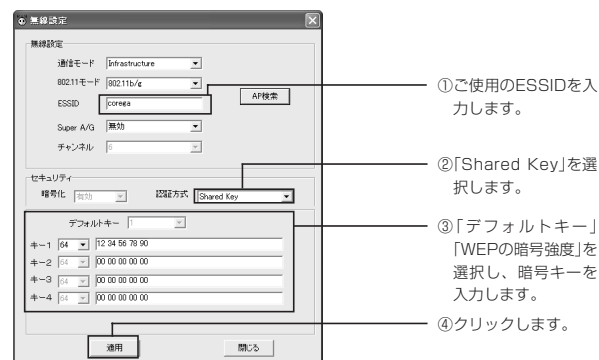
3　パスワード入力画面が表示されますが、何も入力しないで「OK」をクリックします。

4　「無線設定」をクリックします。

5　「AP検索」をクリックします。

6　検索されたアクセスポイントリストから接続したいアクセスポイントを選択し、「適用」をクリックします。

7　「閉じる」をクリックします。

■セキュリティの設定をする

続いて、ユーティリティを使って、本製品にWEPを設定します。

8　「無線設定」でお使いの環境に合わせてESSIDおよびWEPの情報を入力し、「適用」をクリックします。

9　ユーティリティの「閉じる」をクリックし、ユーティリティ画面を閉じます。

ここではESSIDと64bitのWEPの設定方法についてご紹介しました。その他のセキュリティの設定方法については、付属のユーティリティディスクに収録されている「取扱説明書」をご覧ください。

本製品の設定が完了したら、パソコンのIPアドレスはお使いの環境に合った設定に戻してください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
- 改良のため、製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- Windows XP SP1は、Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 1または、Microsoft Windows XP Professional operating system 日本語版Service Pack 1のいずれかを指します。
- Windows XP SP2は、Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 2または、Microsoft Windows XP Professional operating system 日本語版Service Pack 2のいずれかを指します。
- Windows 2000 SP4 は、Microsoft Windows 2000 operating system 日本語版Service Pack 4 または、Microsoft Windows 2000 Professional operating system 日本語版Service Pack 4 のいずれかを指します。
- Windows MeはMicrosoft Windowsｨ Millennium Edition operating systemを指します。
- Windows 98SEはMicrosoftｨ Windowsｨ 98 Second Edition operating systemを指します。

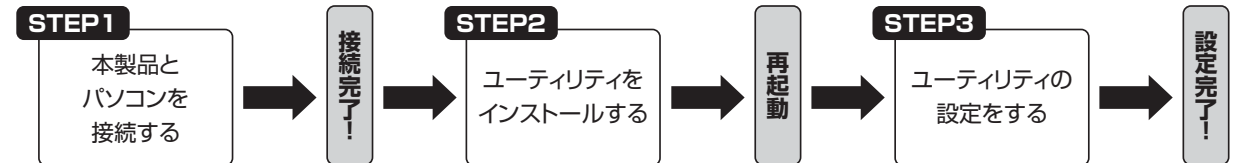
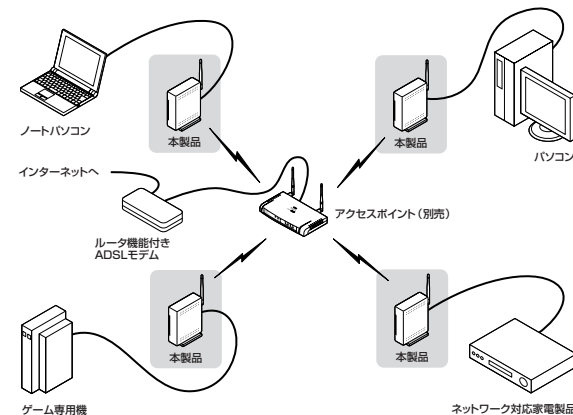
2005年6月　初版

Y613-07306-01 Rev.A

corega　CG-WLCVR54AG2

無線LANネットワーク これで かんたんインストール

【お願い】

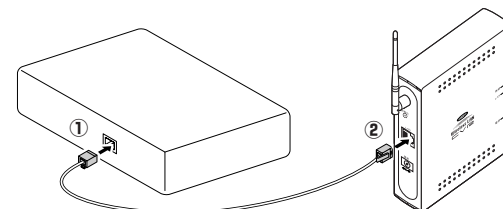
- 本書は本製品の取り扱い手順を説明しています。本書と「はじめにお読みください」、「取扱説明書」（ユーティリティディスクに収録）をよくお読みの上、正しい設置・操作を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。
- 本製品や接続する機器（パソコン、無線アクセスポイント、無線ルータなど）の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。
- このガイドはWindows XP Service Pack 2、Windows XP Service Pack 1、Windows 2000 Service Pack 4を例に説明しています。ご使用のOSや機器によって、画面や手順が異なることがあります。

本製品を使ったネットワーク構成例

注意　本製品をスイッチングハブに接続しての使用は、動作保証の対象外となります。

STEP1　本製品を接続する

本製品は、パソコンなどの機器とLANケーブルで接続して、本製品の電源を入れるだけで使用できる状態となります。

■本製品を接続する

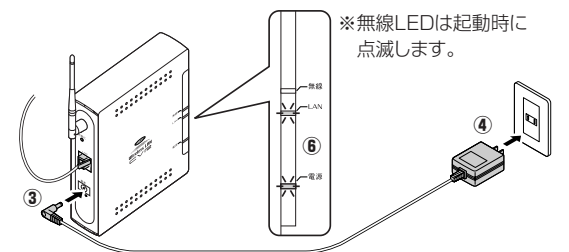
①　LANケーブルを接続する機器のLANポートに接続します。

②　LANケーブルのもう一方を本製品側面のLANポートに接続します。

■本製品の電源を入れる

③　付属のACアダプタのDCプラグを、本製品のDCジャックに接続します。

④　ACプラグをコンセントに接続します。

⑤　本製品に接続されている機器の電源を入れます。

⑥　本体前面のLEDの点灯を確認します。

ユーティリティをインストールする前に

ユーティリティを使用して、本製品のセキュリティを設定するには、次のものが必要です。

■対応するパソコン

- DOS/V、またはPC98-NXシリーズ
- LANポートを搭載している
- CD-ROMドライブを搭載している

■対応するOS

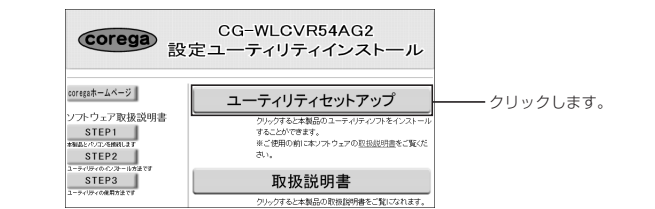
- Windows XP（SP1、SP2）、Windows 2000（SP4）、Windows Me、Windows 98SE

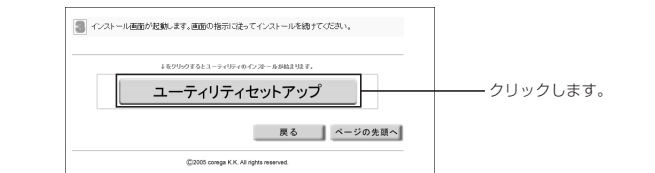
ネットワーク対応家電製品やゲーム専用機でセキュリティの設定を行う場合、パソコンでセキュリティ設定を行ってから本製品を接続してください。

STEP2　ユーティリティをインストールする

・現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
・Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザ名でログインしてください。
・Windows 2000の場合は「Administrator」またはAdministratorsグループのユーザ名でログインしてください。

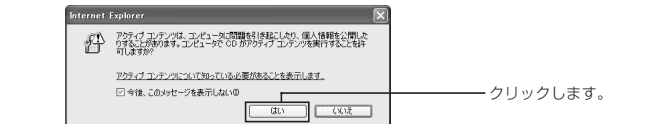
1　ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

2　自動的に次の画面が表示されますので（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください）、「ユーティリティセットアップ」をクリックします。

クリックします。

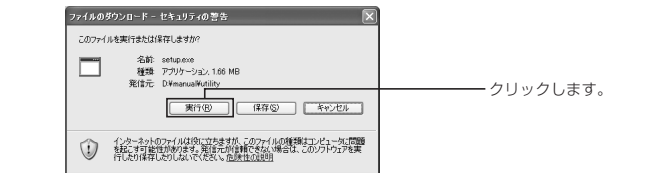
3　手順2の画面で「ユーティリティセットアップ」をクリックすると、次の画面が表示されますので、インストールのご注意をお読みになってから、再度「ユーティリティセットアップ」をクリックします。

クリックします。

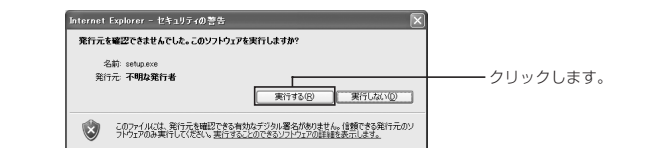
4　お使いの環境により手順が異なりますので、次の手順でインストール作業を進めてください。

●Windows XP SP2の場合

①　次の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

クリックします。

「今後、このメッセージを表示しない」のチェックを外すと、Internet Explorerのアクティブ コンテンツが起動するたびに表示されます。

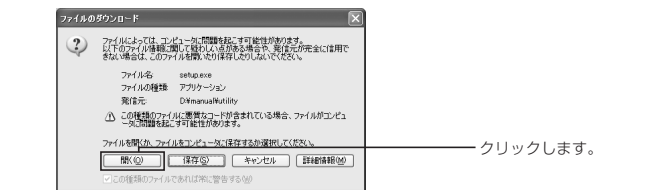
②　次の画面が表示されますので、「実行」をクリックします。

クリックします。

③　「実行する」をクリックします。

クリックします。

④　インストール画面が起動しますので、画面の指示に従ってインストールを続けてください。

手順①～③については、全て弊社にて動作を確認しております。

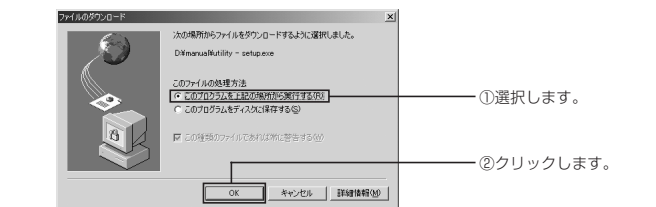
●Windows XP SP1の場合

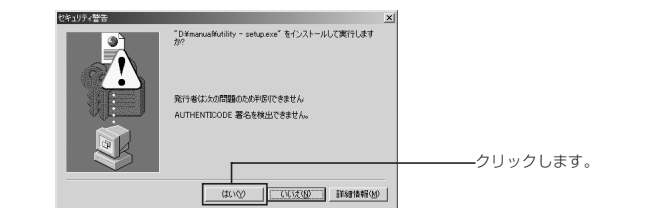
次の画面が表示されますので、「開く」をクリックします。

クリックします。

弊社にて動作を確認しております。

●Windows 2000/Me/98SEの場合

①　「このプログラムを上記の場所から実行する」を選択して、「OK」をクリックします。

①選択します。
②クリックします。

②　セキュリティ警告が出ますが、「はい」をクリックします。

クリックします。

・弊社にて動作を確認しております。
・上記の画面はお使いの環境によって表示されない場合もあります。

5　いくつかの「Installshield wizard」の画面が表示されるので、「次へ」をクリックしてインストール作業を続行します。

インストールの途中で次の画面が表示された場合、OS別にボタンをクリックしてインストール作業を続行してください。

●Windows XPの場合　　●Windows 2000の場合

クリックします。

6　「InstallShield ウィザードの完了」の画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

7　パソコンを再起動します。再起動を促す画面が表示されなくてもパソコンを再起動してください。

8　パソコンが起動したら、CD-ROMドライブからユーティリティディスクを取り出します。

STEP3　ユーティリティの設定をする

■パソコンの設定をする

本製品のユーティリティを起動する前にお使いのパソコンのIPアドレスを固定する必要があります。

●Windows XPの場合

①　「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします。

②　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

③　「ネットワーク接続」をクリックします。

④　「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

⑤　「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

⑥　「全般」タブにある「次のIPアドレスを使う」をクリックし、「IPアドレス」に「192.168.1.3」、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

「IPアドレスを使う」をクリックし、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力します。

「IPアドレス」と「サブネットマスク」に入力する数値は、一例です。ご使用のネットワーク環境に合わせて入力してください。

⑦　「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面で、「OK」をクリックします。

⑧　「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、「OK」をクリックします。

⑨　パソコンを再起動します。再起動を促す画面が表示されなくてもパソコンを再起動してください。

●Windows 2000の場合

①　「スタート」－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。

②　「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が一覧にない場合は、TCP/IPプロトコルをインストールしてください。インストール方法はOSの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

③　「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

④　「次のＩＰアドレスを使う」をクリックし、「ＩＰアドレス」に「192.168.1.3」、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

「IPアドレスを使う」をクリックし、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力します。

「IPアドレス」と「サブネットマスク」に入力する数値は、一例です。ご使用のネットワーク環境に合わせて入力してください。

⑤　「OK」をクリックします。

⑥　「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「OK」をクリックします。

⑦　パソコンを再起動します。再起動を促す画面が表示されなくてもパソコンを再起動してください。

●Windows Me／98SEの場合

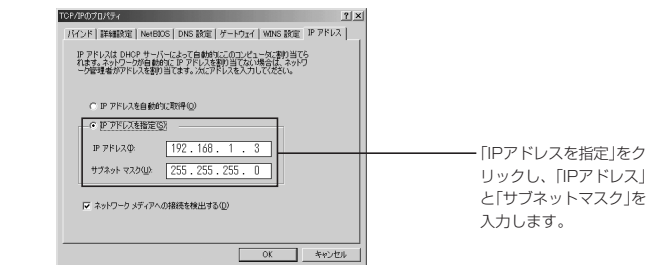
①　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

②　「ネットワーク」をダブルクリックします。

③　「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP－＞XXXXX（ネットワークアダプタ名）」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

「TCP/IP－＞XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が複数表示されている場合は、ご使用になるネットワークアダプタを選択します。

④　「IPアドレス」タブで「IPアドレスを指定」を選択し、「IPアドレス」に「192.168.1.3」、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

「IPアドレスを指定」をクリックし、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力します。

⑤　「OK」をクリックします。

⑥　「ネットワーク」画面の「OK」をクリックします。

WindowsのOS用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合は、指示にしたがってWindowsのインストールディスクを入れてください。操作後、再起動を促すメッセージが表示されたら再起動してください。

⑦　パソコンを再起動します。再起動を促す画面が表示されなくてもパソコンを再起動してください。

本製品の工場出荷時のセキュリティの初期値は次のとおりです。他社製品の無線機器との通信、またはセキュリティを設定している場合は、次の手順でお使いの環境に合わせてご使用ください。

ESSID	corega
認定方式	Open System
暗号化	無効

詳しい工場出荷時の設定については、付属の「はじめにお読みください」をご覧ください。